

## saldm.exe サービスで CPU 使用率が 30% ~ 100%になる不具合の件について

### 1. 現象

形名が GJYNS2R9-ELNN1N0 の HA8000-ie/NetStorage260 にて、saldm.exe サービスで CPU の使用率が 30% ~ 100%になる問題が発生する場合があります。

### 2. 原因

saldm.exe サービス(Server Appliance Local Display Manager Service) は、装置前面の LCD画面を制御するためのマイクロソフト社のソフトウェアです。これは、装置前面のLCD画面を構成するハードウェアおよびデバイスドライバと連動することを想定しており、これらが無い場合は正しく動作することができません。一方、NetStorage260には装置前面の LCD画面は付いておりません。

これによって、システムの起動時には、saldm.exeサービス単体のCPUの使用率が数%以内ですが、ある契機により高負荷になったままの状態になる場合があります。本現象は、装置前面にLCD画面が無い装置においてsaldm.exeを起動していたことが原因です。

### 3. 対策方法

下記手順により、saldm.exe サービスを停止させます。なお、下記手順は、システム装置に接続されたキーボード、ディスプレイ、マウスを使用し、NetStorageのローカルで作業を行ってください。

#### 3.1 事前確認

以下の手順にて、saldm.exe サービスで CPU の使用率が数%以内であることを確認してください。

- (1) タスクバーの何も無い部分を右クリックし、[タスクマネージャ]をクリックします。
- (2) [プロセス]タブを選択します。
- (3) [イメージ名]一覧内の “saldm.exe”の[CPU]数値が数%以内であることを確認してください。

CPU 使用率が 30% ~ 100%になっている場合には、[3.2 対策手順]を行う前に必ず再起動を行ってください。

### 3.2 対策手順

- (1) [スタート] - [管理ツール] - [サービス]を実行します。
- (2) リストから、[Local Display Manager]を選択し、ダブルクリックします。
- (3) [スタートアップの種類]を[無効]にして、[適用]ボタンをクリックします。
- (4) [サービスの状態]で、[停止]ボタンをクリックします。
- (5) [OK]ボタンをクリックします。

OSの再インストールを行った際には、再度、本体策が必要になります。

以上